

# 令和7年度学校自己評価システムシート（県立岩槻商業高等学校）

目指す学校像	柔軟で創造的なビジネス人材を地域とともに育む学校
--------	--------------------------

重点目標	1 主体的、最適及び効率的、教科横断的な学びによる確かな知識・技能及び課題発見・解決能力を育成する。 2 自主的、自立・自律の情勢を図り、柔軟に対応できる心身ともに調和の取れた人材を育成する。 3 進路実現と社会貢献及び活躍の両立ができる一貫したキャリア教育を計画的・組織的に実現する。 4 発信力を重視し、保護者や地域と連携・協働し、地域に根ざした信頼される学校づくりをする。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	4名
	事務局（教職員）	5名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 （ 2 月 5 日 現 在 ）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<b>【現状】</b> ICT 機器を活用した授業づくりにおいて、生徒の実態を丁寧に捉え、きめ細やかな学習指導と、資格取得を力強く後押しする効果的な支援を行っている。 <b>【課題】</b> 生徒がより主体的に学びを深められるよう、発言・発表の機会を積極的に設け、自身の考えを言語化できる指導を一層推進する必要がある。また、資格取得率のさらなる向上を目指し、指導方法の工夫に引き続き取り組む。	生徒の学習意欲を高めるための協調学習、グループワーク、ICT 活用が計画・実施されているか。学び合いを通じて、生徒が互いの表現力を向上させる機会が設定されているか。	①ICT を活用したわかる授業の実践 ②課題発見・解決型の学習指導の研究（研鑽）及び推進 ③主体的・対話的で深い学びを中心とした授業研究による指導力の向上	①②③ICT 活用頻度・方法 ②③学校生活アンケート	<b>【ほぼ達成した】</b> ①教材研究・指導の準備・評価を含め、全教職員が達成している。 ②生徒の授業内容の理解度 87.9% (2.9point↑) ③生徒によるタブレット端末の授業・自学での効果的活用 86.9% (2.7point↓)	A	<b>◆</b> タブレット端末を活用した授業は定着してきたが、「個別最適な学びと協調的な学び」に対する効果が低迷傾向にある。 ◇生徒の課題発見・解決能力を育成する指導計画を考え、実践する。
		ICT 機器の活用を含む取り組みにより、資格取得率は目標とする水準に達したか、または向上傾向にあるか。	①資格取得指導の実施 ②上位級合格者の表彰、検定バッチ（検定1級、1～3種目合格者）の表彰	①資格取得率（専門資格等取得表彰7割以上を目標） ②上位級合格者数	<b>【概ね達成した】</b> ①3年生の申請者計65名（65.7%）昨年度比2.1point↓ ②検定バッチ（3種目2名、2種目9名、1種目17名）表彰	B	<b>◆</b> 上位級合格者が少ない。 ◇検定試験の改編やC B T方式試験に対応した教職員研修を実施する。
2	<b>【現状】</b> 組織的な安心安全の学校づくりを基盤とし、充実した教育活動が実施されている。 <b>【課題】</b> 生徒が社会生活を円滑に送るため、様々な教育活動を通して、交通マナーや身だしなみを守る意識、自己管理能力を高める力、そして自律的に行動する力を育む支援が求められる。	生徒の人間力（学力や社会貢献が可能となる人格形成）を高める指導が実施できたか。	①人間力を高める教科指導、生徒指導、進路指導の実践 ②部活動の取組、生徒の様々な活躍を奨励する指導の実施	①学校生活アンケート ②部活動実績や生徒の活躍状況	<b>【ほぼ達成した】</b> ①欠席2.6point↑、遅刻1.7point↑（2学期に5回以内） ②珠算・ワープロ競技は全国大会、生徒商業研究発表大会は関東大会へ出場した。	A	◇不安を抱える生徒の適応力向上を目的とした環境の設置・運営を行う。 ◇部活動活性化を目的とした再編整備を検討する。
		危機管理の観点から、生徒の自主性と創造性を育成する指導が実施できたか。	①交通安全巡回指導、いじめ防止の組織的指導の実施 ②危機管理マニュアル等に基づく安全対策指導の実施	①交通事故件数 ①いじめアンケート ②安全対策指導の実施状況	<b>【ほぼ達成した】</b> ①公道での接触事故は8件であった。いじめ案件に対しては、組織的かつ迅速に対応した。	A	◇改正道路交通法に即した交通安全指導を行い、暴力行為・いじめを許容しない学校環境を整備する。
3	<b>【現状】</b> 系統的かつ段階的なキャリア教育により、生徒の進路実現は着実に成果を上げている。 <b>【課題】</b> 社会で即戦力となり、未来を切り拓く人材として求められる資質・能力を、より深く生徒に定着させる支援が求められる。	社会で即戦力となり、未来を切り拓く人材として求められる資質・能力を明確に示し、それらの定着を意図した指導は適切に実施できたか。	①中学校との接続を考慮したキャリア・パスポートの活用 ②「未来の職業人材育成事業」等による外部教育力活用 ③起業家（未来を切り拓く人材）等による外部教育力活用	①キャリア・パスポートを活用した指導（月1回以上を目標） ②③外部教育力の活用状況	<b>【ほぼ達成した】</b> ①計画通り実施した。 ②「課題研究」や文化祭等で地域の方々から指導を得た。 ③起業家による支援は実現できなかったが、歴史研究者による講演会を実施した。	A	<b>◆</b> 商業高校が持つ「強み」が活かされていない。 ◇産業界等との持続可能な連携の深化、産業界等の実態に即した学びの充実を検討する。
4	<b>【現状】</b> 教育活動や生徒の活躍状況を SNS や HP で公開しているが、認知度が低い。 <b>【課題】</b> 生徒の活躍を捉えた魅力的な情報発信と PR 戦略を立て、その活躍の場を創出する教育活動を積極的に展開していく必要がある。また、地域との連携をより一層強化していく必要がある。	広報活動の効果を検証し、改善に向けた取り組みを行ったか。	①積極的な情報発信 ②学校説明会等の工夫・改善 ③中高連携事業の実施	①SNS・HP へのアクセス数 ②参加者数、志願者数 ③中高連携事業実施回数	<b>【概ね達成した】</b> ①②若干、減少傾向にある。 ③出前授業に3回参加した。	B	◇生徒主体による広報活動（説明会等の運営、SNS での情報発信）を検討する。
		地域との連携を強化することで、生徒の地域理解を深め、地域課題の解決に主体的に取り組む姿勢を育成できたか。	①地域貢献活動等の実施 ②地域連携・高大連携事業の実施 ③探究学習（課題発見・解決能力育成）の推進	①地域貢献活動等の実施回数、参加生徒数 ②地域連携・高大連携事業実施回数、参加生徒数 ③学校生活アンケート	<b>【概ね達成した】</b> ①岩槻まつり・鷹狩り行列、やまぶきまつりに、授業・部活動、有志生徒が参加した。 ②中庭整備（造園技術指導）に有志生徒が参加した。	B	◇学校運営協議会によって学校と地域における課題を共有し、共通理解を図るとともに、生徒たちの主体的な社会参画に関わる教育の改善を検討する。

学校関係者評価
実施日 令和8年2月27日
学校関係者からの意見・要望・評価等
○生成AI活用も当たり前の時代になってくるので、誤情報に注意しながら、自分の考えを整理するなど、AIに答えを委ねるのではなく、自らの創造性を引き出すための手段として主体的に向き合う姿勢を期待しています。 ○資格取得に対する生徒たちのモチベーション（動機づけ）の様子が気になりましたが、生徒たちの回答を聞いて、周囲に言われるからではなく、自らのスキルアップや自信につなげたいという主体的な目的意識が芽生えていることを確認できました。
○生徒が主体的にルールを考え、守る姿勢を養うためにも、校則の見直しについて、全校で協議する場を検討していただきたいと思います。 ○交通安全指導、暴力行為やいじめを許容しない環境整備については、先生方の人事異動が生じても、その経験やノウハウが失われないようにしていただきたいと思います。
○商業高校には、資格取得やインターンシップを通じた自己理解の深化、そして地域社会や企業との連携による即戦力性の育成という明確な強みがあります。産業界とのつながりについては商工会議所に相談してください。
○生徒主体の情報発信をする際は、著作権や肖像権等の順守、プライバシー配慮等の指導をお願いします。 ○男子制服は、ボタンを付け替えることで（中学校の制服等の）継続利用が可能ですが、実際には入学時に新調する家庭が多く、家計負担の軽減につながっていない現状があります。